

中国語における 日本語借用語としての若者ことばの語彙的特徴*

谷奕暁・桑本裕二

キーワード：若者ことば、借用語、語彙の普及、中国語、日本語

1. はじめに

若者ことばは、米川 (2000, 2009) によれば、「若者」という一種の特定集団に使用される「集団語」と定義される。そして一般的には、日本語のものに特定して言及される。若者ことばはその担い手である「若者」によって「若者文化」のなかで造語され、普及し、やがて廃れて他のものへ置き換わったり、示す意味が変わったりという発展をとげる。

近年、若者文化の普及は海外にも浸透しつつあり、特にアジア諸国への影響は経済的にはもちろん、言語的にもきわめて大きい。本稿は、特に中国語における日本語若者ことばの普及に注目し、その特徴を考察したものである。

小矢野 (2002) が指摘しているように、若者ことばは流行り廃りが激しく、分析するには非常に不安定な語彙体系であるが、桑本 (2003b, 2010) ではいく通りかの方法で語彙の類型を試み、いくつかの特徴を明らかにした。桑本 (2010) は、若者ことばの媒介ルートにいくつかあるということにも触れたが、近年のアジア諸国、特に中国に対しては、ACG¹⁾文化やファッションに関連した日本語の語彙が豊富に用いられ始めており、その語彙群のなかにいわゆる若者ことばが含まれる。つまり、中国語に借入された日本語若者ことばは、豊富な種類の中のごく限られた媒体を通してのものであり、これらの語彙を典型的な日本語若者ことばと対照した場合には、当然特有の特徴が期待される。本稿では、近年実際に現れ始めている、中国語に入った日本語起源の若者ことばを語彙的に考察する。語彙的な特徴として、本来の日本語若者ことばのどのような点が顕現するのか、また、標準的な語彙としての中国語の外国語借用語と比べてどのような点が際だっているのかを考察し、最終段階として、中国語の若者ことばとしての、本来の日本語若者ことばにない特異点を指摘する。

2. 若者ことばの位置づけと他言語への伝播

2.1 若者ことばの位置づけ

「若者ことば」とは、「若者文化」という特定の言語集団を想定した場合、その中において、その構成員である若年層の集団によって使用され、当該の文化を特徴づけている言語体系である。若者ことばを統一的にとらえようとするときに、問題となるのは、「若者」とは誰なのか（使用者の集団は具体的に何なのか）、今想定したばかりの「若者文化」とはいったい何なのかということである。これらを明確に定義するのはきわめて難しいことである。

2.1.1 若者ことばの年齢層

「若者ことば」の使用者は主に若者に限定されるが、若者が使用するからといってそれが若者ことばというわけではない（小矢野 2006: 17）。また、「若者」でない年齢層にまでいわゆる「若者ことば」が浸透している場合もある（桑本 2003a: 114）。さらに、典型的に「若者」と見なせる年齢層の人が「使ったことがない」「意味がわからない」という若者ことばも少なからずある。

そもそも、「若者ことば」の使用者である「若者」とはどれくらいの年齢層を指して言っているのかを明記するのはきわめて困難である。米川 (1998: 15) は、「中学生から三十歳前後の男女」と定義づけ、小矢野 (2006: 17) はそれを受ける形で、文化庁文化部国語科が行っている「国語に関する世論調査」の若年層が「十六歳から二九歳まで」としているのがほぼ相当するとする。桑本 (2003a: 114) は試作的な定義として、暫定的に「10 代後半から 20 代前半」としたが、これは、調査対象の大学生のなかの「使ったことがない」「意味がわからない」という意見を反映して年齢の上限を低く見積もってしまったといういきさつがある。昨今では、典型的な若者ことばである「～男子／～女子」のような言い方に、30 代位の（独身の）男女が含まれているとするのが普通であるように（桑本 2010: 31）、若者ことばを使用するいわゆる「若者」の年齢の上限はかなり高まっているようである²⁾。

2.1.2 「若者文化」について

桑本 (2010: 2ff.) で、若者文化については、「最近の若者は…」と言われる年齢層の集団が共通のものの考え方、風俗、行動などを共有しているとし、それをもって「若者文化」とみなした。さらに、この文化の共有者たちは、たとえば典型的に表れる身なり服装の風俗としての「茶髪」「ピアス」などに対して、自らがそれを愛好しない、行動しないとしても、そのような周囲の同世代人たちをそれなりに受け入れて奇異に感じないとすれば、同じくそのような文化を共有しているものとみなした。

全体としては渾然としている「若者文化」からは、行動を共にし、共通の言語使用をするいくつかの集団を抽出できる。またそれは伝播・普及の媒介とも関連している。桑本 (2010) では、

(1) 若者文化の媒介・伝播の経路（桑本 2010: 100ff.）

- a. 書籍物
- b. 漫画
- c. テレビ
- d. インターネット

を、媒介・伝播の経路としてあげた。さらに、(1c) から「アニメ」文化が派生、(1d) はもともとは別の出自である「ゲーム」文化を相乗的に発展させ、加えて (1b) 「漫画」文化と相俟って「オタク」文化を派生させている。

(2) オタク文化

- a. 漫画（コミック）(=(1b))
- b. アニメ (←(1c))

c. ゲーム (←(1d), 他)

オタク文化を媒介する使用語彙は、典型的な若者ことばとは本質的に異なるものであるとはいえ、新語の造語力、伝播のスピードなどにおいて際だった特徴を見せており、若者ことばの変種として代表的なものと扱われてしかるべきである。

2.1.3 若者ことばの特徴

若者ことばを一種の流行語とみなすと、流行の廃れとともに使われなくなり、早急に死語となってしまう傾向が非常に強い。しかし、他地域、他集団へ伝播し、語彙自体が普及していくためには、安定して定着しなければならない。伝播の媒介は、上記 (1) に示したとおりであるが、このような媒介を通して普及する語彙にはいくつかの特徴が見られる。

桑本 (2003a: 117ff.) では、若者ことばの定着の特徴として次の 6 つを挙げた。

(3) 特徴 1. 使用場面が多いこと

特徴 2. 形態的派生形が存在すること

特徴 3. 意味の転換

特徴 4. あいまいな表現

特徴 5. 符丁的すぎるものは定着しない

特徴 6. テレビを通じて流行った芸能人の言動を発生源とするものは定着しない。

最近の若者ことばの特徴として、桑本 (2010: 38f.) では次の 4 つを特に目立つ特徴として挙げた。

(4) ①曖昧な語彙の意味

②過度な省略

③アルファベットや英語の使用

④過度な分類

これらの特徴は、定着のためのものではなく、現状の語彙の傾向を示したものであるが、同著の終結部分で若者ことばの将来像を次のような項目を挙げて予測している (桑本 2010: 183ff.)。

(5) ・「マジ」のような使用層が幅広くなったもの

・「KY」のようなアルファベット頭文字語

・他人をけなすことば

・「チョー」のような強調語

・ぞんざいな言い方

・「イケメン」(←イケてる) などの意味の転換

・ 4 モーラ略語から 3 モーラ略語へ

(4), (5) を比較すると、(4) の各項目はそれぞれ (5) のどれかの項目を反映しており、これら

の特徴は、語彙の定着、普及が促進する方向に向かっていることを示唆している。

桑本 (2003b) では、定着している若者ことばについて形態論的、意味論的に考察した。まとめると以下の通りとなる。

(6) 若者ことばの形態論的特徴 (桑本 2003b)

- | | |
|---------------|--------------------|
| a. 接辞・接辞的要素 | ～系、シャネラー、など |
| b. 略語 | ばっくれる、キモい、つかいっぱ、など |
| c. 複合語 | できちゃった結婚、おな中、など |
| d. 文法の変異を伴うもの | ら抜きことば、するよりだったら、など |

(7) 若者ことばの意味論的特徴 (桑本 2003b)

- | | |
|----------|-------------------------|
| a. 意味の転換 | |
| i. 名詞類 | ゲット、連チャン、天然、など |
| ii. 用言 | かむ、かぶる、かわいい、など |
| iii. その他 | ありえねえ、など |
| b. 強調語 | チョー、マジむかつく、など |
| c. 曖昧な表現 | ～したっぽい、～じゃないですか、ビミョー、など |

若者ことばの発展は、たとえばオタク文化のように、本来的にはかなり限定された同一集団内に限られるはずであるが、語彙が広範囲に定着するためには、語彙の波及は特定集団の外に向かうことになる。日本語という同一言語内であれば、若者ことばの語彙は、若者文化の集団を離れ、他の年齢層に向かう。これは語彙の大衆化を意味する。他言語への伝播を考慮するならば、若者ことばの語彙の波及は、大衆化というよりは、外来語・借用語の一部ととらえられなければならない。

次節では若者ことばという一種の集団語が外来語として他言語へ借用される概要について述べる。

2.2 他言語への伝播

一般に、語彙が外国語へ伝播する場合、それは、外来語、または借用語という形をとることになる。通常の語彙は、主に、国家間の政治的交流、または経済的交流をきっかけとして語彙の借入がはじまる。またそれに続いて、食べ物や日用品などを含む文化交流のなかからその種の語彙が借用される。アジア諸国に関しては、かつては欧米諸国から、近年は日本からの文化移入に付随して様々な語彙が借入されてきている。

若者ことばが日本語からアジアの他言語へ借入される例がある。若者ことばは、もともと限られた集団の語彙であり、外国語へ借入されるためには次の2つのルートが考えられる。

- (8) a. 若者ことばが、日本語のなかでいったん定着し、そののち一般語彙として他言語へ借入される。
- b. 若者ことばの母体である若者文化が他国へ移入され、その文化の特徴的語彙として若者ことばが借入される。

(8a) は、日本語のなかで一般語彙になってしまった時点ですでに若者ことばとしての斬新さや固有の特徴を有さなくなるので、語形は借入されるとしても、含有すべき特徴はもはやもっていないと考えられるから、これを本来的な若者ことばとは認めがたい。したがって、(8b)こそが唯一想定できる他言語への若者ことばの借入の経路である。

2.1.2 節で、若者文化について、特に目立った特徴をもっているものとしてオタク文化というものを挙げた。オタク文化の代表的なものとして挙げられるのは、中国で ACG とよばれるものであり（注 1）参照）、これを媒介しているのはインターネットである。インターネットの普及が若者文化の他国への移入を促進してきたと考えられる。テレビドラマや映画の放映、ポップスなどの音楽の流行は関連企業の提携などが基になるため、個人レベルでの文化、それをになう語彙の伝播には多少の時間と心理的コストがかかる。インターネットという媒介手段が若年層で絶大な流行をみる現状において、若者ことばが国際的に伝播・定着する地盤が確立しつつあると考えていいと思う。

本論は、このような若者ことばの他言語への借入の考察として、中国語に取り入れられつつある若者ことばを分析したものである。中国語においては、ACG 文化に加えてファッション関係の語として若者ことばが取り入れられている。次節では、中国語の借用語の類型について、さらに、対日本語に特化した借用語史について述べることとする。

3. 中国語における借用語の類型と日本語借用語史

3.1 中国語の借用語の類型

従来、中国語における外来語について、定義が明確に統一されたことはない。もちろん、具体的にいくつかの分類は大体認められている。

中国語における語彙借入の際にみられる特徴となっているのは、中国語の筆写が、本来的に表意文字である漢字にほぼ限定されているということである。もちろん、大部分の言語でそうであるように、借入元の語の音声をほぼそのままの形で、なおかつ中国語の音韻体系に合わせた若干の修正をともなって作られる場合も多い。この場合は、用いられる漢字は表音的に機能するのみで、示す意味は原則的には全く関わりをもたない。たとえば、固有名詞である「奥巴马 (ao⁴ba¹ma³)」「Obama」に使われている漢字は本来の意味を全く反映していない。ところが、漢字が本来表意的であるということから、意味や概念を漢字に写す意識を行う場合がある。意味が元の音形と完全に乖離している場合は翻訳借用であり、これも多くの言語に存在しているが、それとならんで、音形も似せながら意味も伝える漢字が選択される場合もあり、このような借用語が中国語の際だった特徴といえる。

音訳、意識という基準で中国語の借用語を分類すると以下のとおりとなる。

(9) 中国語における借用語の分類

[1] 完全な音訳語

→ 元の単語の発音と似ている漢字を用いて造られた語。漢字の意味は反映しない。

ex.	巴士	ba ¹ shi ⁴	“bus”
	沙发	sha ¹ fa ¹	“sofa”

奥巴马 ao⁴ba¹ma³ “Obama”

[2] 完全な意識語

→ 元の単語の意味を伝えるのをもっぱらとし、音形は全く反映されない。典型的な翻訳借用である。

ex. 电视 dian⁴shi⁴ “television”
主页 zhu³ye⁴ “home page”

[3] 音訳語＋注釈語

→ 前半部の音訳語に補足的に意味を説明する注釈語を添える。ex. の語のなかの「车 (che¹)」「舞 (wu³)」は、元の語 “jeep” “ballet” の音形とは関係ない。

ex. 吉普车 ji²pu³che¹ “jeep”
芭蕾舞 ba¹lei³wu³ “ballet”

[4] 音訳と意識を兼ね備えている語

→ 元の単語の発音と似ている上に、かつ元の単語の意味を表す文字が選ばれて訳された語彙である。

ex. 绷带 beng¹dai⁴ “bandage”
可口可乐 ke³kou³ke³le⁴ “Coca-Cola”

[5] アルファベットを用いる語

→ 欧米起源の借用語として、漢字でなくアルファベットをそのまま用いる、数少ない例である。ex. に挙げたような英語起源の頭文字語がこれにあたる。

ex. WTO, DVD, CEO

3.2 日本語借用語のとらえ方

日本語借用語については沈 (2008) に詳しく述べられているとおりであるが、中国語にとって、日本語借用語は、英語借用語やフランス語借用語などと同じように、借用元の言語を明示する一方、これらとは「漢字」という表意的要素を共通してもっているという点において質的に異なっている。日本語から中国語への借入語の場合、表意的な文字体系である漢字を共通して使用していることが外来語・借入語の解釈を困難にしている。音訳語、意識語に加えて、日本語の漢語の移入について、「借形語」という用語を与えて再分類するのが一般的である。

(10) 中国語の日本語借用語の分類

[1] 音訳語

榻榻米	ta ⁴ ta ⁴ mi ³	「たたみ」
烏冬面	wu ¹ dong ¹ mian ⁴	「うどん」

[2] 意識語

生魚片	sheng ¹ yu ² pian ⁴	「刺身」
-----	--	------

[3] 借形語

人気	ren ² qi ⁴	「人気」
経済	jing ¹ ji ⁴	「経済」
语言	yu ³ yan ²	「言語」

[1] 音訳語 については、借入元の言語（日本語）の音形のみを借入したものであり、典型的な借用語（外来語）と解釈される。

[2] 意識語 については、「生魚片」（刺身）のように、あきらかに外来の概念を伝えているにもかかわらず、元の単語の属性、特徴、意味などを考えた上で、中国語本来の文字を使い、なおかつ形態的、統語的にも中国語本来の造語法に基づいているという点で、本来的に借用語（外来語）とは認めない考え方もある。

[3] 借形語 についてはさらに解釈が困難となる。借形語とは日本語の語彙が使われている文字のまま中国語に写したものである³⁾。たとえば、(10)-[3] に挙げた「人気」などの語は、中国語 ren²qi⁴ vs. 日本語 ninki となり、音訳ではないが、日本語、中国語で共通して用いられている漢字を直接写すという借用である。この種の語には、たとえば「気」という日本語での漢字を現代中国語の簡体字「气」へ変換していることや、それぞれの漢字の意味が異なる場合もあること、また、「言語」→「语言」のように、漢字が組み合わされる際に統語構造の変化を伴う場合があるなど、独特の特徴をもっている。

中国語の日本語からの借用語は、音訳語や意識語に比べて借形語が非常に多いというのも特徴の一つである。

3.3 中国語の日本語借用史

中国と日本の語彙借用について歴史的にさかのぼると、中国語から日本語へ借用されたのがはじめである。日本では、5～6 世紀頃に最初に中国から漢字が輸入され始めてから漢語として中国語の語彙が借用されてきた。

その反対に、日本語から中国語に語彙が借用され始めたのは清朝末、19 世紀末期からである。それから現代までの間に、大きな語彙借入の時期が 3 度あった。

(11) 中国語の日本語借用の時期（3 回）

- 1 回目：19 世紀末～1920, 30 年代
- 2 回目：1970～80 年代
- 3 回目：1990 年代以降

1 回目の借入期の始まりである 19 世紀末は、中国では清朝末期にあたり、日本の明治維新にならうと主張した学者が現れた。中国近代維新派の代表者である梁啓超（1873-1929）を代表とする中国の愛国志士が革新に失敗したが、それから 1920, 30 年代まで、日本へ留学し、様々な学術を学んでその知識を中国に取り入れようという動きが続いた。日本へ派遣される学者達は、日本の知識を中国に紹介するため、新聞の発行、教科書の翻訳、辞書の編集などさまざまな活動を行った。日本では、他のアジアの国より早く西洋の文化に接し、数多くの西洋の文化、概念などを表す新しい概念（経済、社会、科学など）を翻訳し、元々の中国語にはない日本製漢語語彙⁴⁾を多く創り出していた。そのような日本起源の漢語が数多く中国へ流れ込んだ。

2 回目の借入期は、1972 年の日中国交正常化に端を発し、1980 年から順次行われた対外開放政策、特に沿岸諸都市が開放された 1984 年以降数年間にあたる。この時期、日中両国の政治、経済、文化、教育など、さまざまな方面の交流が頻繁に行われ、それにともなって日本語からの借入語を中心とした中国語の新語が急増した。この時期の借入語は 1 回目の日本語借用ブームと比べて異なる特徴が見られる。日本を通して西洋文化に接することではなく、日本文化と直接に接触することにより日本語語彙の受容がなされているのである。また、受容される経路は翻訳ではなく、香港・台湾経由で中国語に流れ込んできたものもあれば、直接に両国の国民の交流によって入ってきたものもある。日本への中国人留学生がその流入を促進したことは 1 回目と同じだが、その規模は比較されるほどではない。新しい借用語の中には抽象的な概念を示すものもあるが、日常生活に関わる語彙が多く、学術用語の受容はほとんどない。

3 回目の借入期は、中国の経済的、文化的な国際化と関係がある。引き金となっているのは 2001 年の WTO への加入、2008 年の北京オリンピック、2010 年の上海万博開催であり、同時期に、媒介するメディアとしてのインターネットが普及してきたことが最大の特徴である。インターネットの流行⁵⁾とともに、受け入れる分野や年齢層が若者向けになってきたという傾向が見られる。インターネットを介してアニメ、漫画、ゲーム、ファッションなどの若者文化が流入し、それとともに若者ことばが借用され始めている。

次節では 3 回目の日本語借入語の主流である日本語起源の若者ことばを取り上げ、どのような特徴が見られるのかを通常語彙の日本語借用語、また、日本語本来の若者ことばとの異同に着目しながら、形態論的、意味論的に分析する。

4. 日本語借用語の若者ことばの類型

4.0

日本語から借用された中国語の若者ことばについては、3.2 で分類した一般的な日本語借用語の分類のうち、もっとも目立って見られるのは借形語と音訳語である。意識語の例はほとんどない。それに加えて特徴的なのは、仮名を直接使用う例である。以上 3 種類の形態的な分類に基づき、それぞれについて具体例をあげて分析を行う。

4.1 借形語

4.1.1 「宅」

中国語の「宅」は *zhai*² と読み、「オタク」を意味する。日本語の若者ことばの「オタク」は、通常語彙の「お宅」からの派生であるのは明かであるが、漢字「宅」は「オタク」の意味では使われないから、中国語に借入された「宅」は厳密には借形ではないことになる。

日本語若者ことばの「オタク」は、『広辞苑』では

- (12) 「おたく」(『広辞苑』) — (多く片仮名で書く) 特定の分野・物事にしか関心がなく、その事には異常なほど詳しいが、社会的な常識には欠ける人。仲間内で相手を「御宅」と呼ぶ傾向に着目しての称。

と定義されているが、中国語に借用されると「宅男 (*zhai*²*nan*²)」「宅女 (*zhai*²*nü*³)」のように「-男/女」が付加され、一種の派生語となっている⁶⁾。

- (13) 方力申和何炅在片中扮演两个性格全然对立的宅男
方力申と何炅はそれぞれ性格がまったく違うオタクを演じる。
(「金鹰网—电影—何炅加盟《宅男总动员》灰太狼造型喜感十足」
<http://ent.hunantv.com/d/x/20101112/803404.html>)

複合語としての派生には次のような例がある。

- (14) 硬宅 *ying*⁴*zhai*² インターネットやパソコンのオタク
軟宅 *ruan*³*zhai*² 漫画、アニメ、ゲームなどのオタク

中国語の「硬/軟」(硬い/軟らかい)が、オタクの種類のイメージに結びつき、独自の派生語を作っている。

中国語の「宅」は、通常の語彙としては「家(大きい屋敷)」の意味であるが、この本来の意味をふまえて「オタク」の意味から、「家に引きこもる」という意味ももつようになった。いわゆる「オタク」には、世間のことに関心を持たず、部屋から出たくなく、長時間インターネット上にいるというイメージが強い。この意味から日本語の「ひきこもり」に近い意味派生が生じた。次のような例がある。

- (15) 冬季养生指南：“宅”生活潜在健康隐患
冬生活的健康案内：引きこもりの生活に不健康要素が潜んでいる。
(「人民网・天津视窗—生活家」
<http://www.022net.com/2010/12-10/43314720339352.html>)

この場合には、特定の分野・物事にしか関心がなく、その事に異常なほど詳しいという、本来の「オタク」の意味合いは含意されない。この意味派生は中国語独自のものである。

また、この種の「宅」には、動詞としての用法もある。「オタクのように別に大したことをやらないで家にひきこもる」という意味でとらえられる。

- (16) 每天**宅**在家里上网。
每日**家**から**出ないまま**インターネットばかりをする。
- (17) 今冬不再**宅**在家中。
今年の冬にはもう**家**に**ひきこもらない**。
- (18) 米帅现在是个胖子了，这也是他**宅**出来的祸。
米帅は**ひきこもったせい**で今は**デブ**になってしまった。
(「新浪娱乐—影音娱乐—电影宝库—《宅男总动员》3月上映 盘点娱乐圈“宅”男」
<http://ent.sina.com.cn/m/c/2010-12-08/12463171162.shtml>)

日本語の若者ことばの「オタク」に動詞的な派生形（たとえば「～する」「～る」のような）が存在しないことから考えても、中国語での「宅」はすでに広範囲に定着していると言えるであろう。

4.1.2 「萌」

中国語の若者ことばとしての「萌 (meng²)」は、日本語の若者ことばの「萌え」を意識したものである。

『大辞泉』「萌え」の項には、

- (19) 「若者言葉」ある物や人に対して持つ、一方的で強い愛着心、情熱、欲望などの気持ち。必ずしも恋愛感情を意味するものではない。アニメオタクなどの間で特定のキャラクターが好きだと言ったり、さらにはその好みの微妙な差を表現する時に使う。

とある。オタク文化では1980年代から使用されていたとされるが、一般的に認知されたのは2000年代以降で、2005年のユーキャン流行語大賞に選出されたことなどが、語彙の流行の時期を象徴している。その後中国語に借入されたようだが、日本語での使用が、感情、欲望などの表現として、「萌え～」などという感情の叫びに留まっているのに対し、中国語の「萌」は、「かわいい」という意味の形容詞 (20, 21) や『『萌え』と言いたい感情を持つ』『夢中にさせる』といった動詞 (22, 23) としての派生を行っている。

- (20) 雪花满满，圣诞节必备超**萌**长卷发。
雪が降り、クリスマスに不可欠な**とってもかわいい長いパーマ**である。
(「新浪网-时尚」 <http://fashion.xinmin.cn/2010/12/09/8194518.html>)
- (21) 太**萌**了，又一DIY硬件厂商创作卡通形象。
とてもかわいい！またDIYハードディスク会社に新しいアニメキャラクターが作られた。
(「新浪数码」 <http://tech.sina.com.cn/h/2010-12-10/06011595960.shtml>)

- (22) **萌**倒胡歌の玉漱公主 de 迷蒙眼妆大热曝光。

胡歌の玉漱姫様のように夢中にさせるアイシャドー

- (23) <<魔界 2>> 熊猫人**萌**翻众玩家。

『魔界 2』というゲームの新しいキャラクター「熊猫人」が遊ぶ人たちを夢中にさせている。

(「麦团网页游戏-新闻中心-游戏资讯」

<http://www.maituan.com/news/gamenews/201012/02-46570.html>)

中国語での「萌」は、アニメオタクの間でかわいい女の子のキャラクターや、かわいいものなどに対して、また、化粧、服装などの広告や芸能界の女優、BBS⁷⁾上にあるかわいい写真のメッセージなどによく使用され、媒体もインターネットかファッション関係の雑誌に限られている。

4.1.3 「食草男」

日本語若者ことばの「草食系男子」は中国語ではほぼ同じ意味で「食草男 (shí²cao³nan²)」となる。中国語では統語構造に合わせた語順の変化を伴い、「草食」が「食草」になっている。また、「宅男」(オタクの男性)と同じく「-男」が性別を表す形態素となるが、日本語若者ことばの「男子(だんし)」がもつ独特の語感⁸⁾は翻訳されていない。

- (24) 都市男人又有新族群“**食草男**”席卷而来。

都会の男性の中に新しく“草食系男子”というグループが流行ってくる。

- (25) **食草男**黄又南遭遇野蛮女友<<宅男总动员>>里受尽气。

草食系男子の黄又南が「肉食系」の彼女に会い、「宅男总动员」という映画の中でいじめられた。

(「百度娱乐」 <http://yule.baidu.com/news/movie/2010-11-24/1299004382.html>)

4.1.4 借形語若者ことばのまとめ

借形語若者ことばについては、3.2 節で述べたように、一般語彙の借用語として借形語が圧倒的に多いのに追従するかたちで、最も受け入れやすい語種であると考えられる。漢字を用いるという共通性のために、語形を漢字とともに直接に借用できるからである。ただし、たとえば「食草男」のなかの「食」は「食べる」という意味では通常用いない文字であるように⁹⁾、漢字の使用に関する微妙な意味的差異が無視され、そのため「食草男」のような語が外来語であるという語感を与えているのである。また、「宅」が「オタク」の意味だけでなく、「ひきこもり」に近い意味で使われることには、中国語の本来の語彙「宅」の意味が影響している。「宅」に関する意味の派生は、桑本 (2010) に挙げた「「イケメン」(←イケてる)などの意味の転換」(5)、桑本 (2003b)「若者ことばの意味論的特徴」の「意味の転換」(7a) などのような、若者ことばの内部での意味派生ではなく、本来の中国語の影響によるものであるという点で特徴的である。この点は、外来語の一部であることに基づく興味深い意味派生である。

「宅」や「萌」に関して、元の日本語若者ことばにない、動詞としての派生があることなどは、桑本 (2003a) で挙げた若者ことばの定着のための特徴の一つ「特徴2. 形態的派生形が存在すること」((3) 参照) を顕現しており、そればかりか、元の日本語若者ことばからさらに進化した状態であるといえる。また、「宅」に対して「宅男」「宅女」「硬宅」「软宅」を派生していることは、桑本 (2003b) の若者ことばの形態論的特徴のうちの「接辞・接辞的要素」(6a) 「複合語」(6c) を反映している。

4.2 音訳語

4.2.1 「卡哇伊」「噢夏蕾」「欧吉桑」「欧巴桑」

「卡哇伊 (ka³wa¹yi)」 「噢夏蕾 (o¹xia⁴lei³)」 「欧吉桑 (ou¹ji²sang¹)」 「欧巴桑 (ou¹ba¹sang¹)」 は典型的な音訳借用の例である。それぞれ、「かわいい」「おしゃれ」「おじさん」「おばさん」という日本語の発音をほぼそのまま借用し、中国語の同じ発音の漢字を使って音訳した単語である。

(26) 超级**卡哇伊**的儿童房设计! 亲亲宝贝的专属城堡。

超**カワイイ**子供の部屋のデザイン! 子供のお城。

(「搜房 家居快讯」 <http://home.wh.soufun.com/news/2010-10-14/3905494.htm>)

(27) **卡哇伊**! 洪荒神话史上最牛A宠物曝光。

カワイイ! ゲーム「洪荒神话」に最高なペットが登場。

(「多玩游戏 网页游戏频道」 <http://web.duowan.com/1009/149524200532.html>)

たとえば、「卡哇伊」は、インターネット上にある美容、服装、グラビア、漫画、ゲーム、芸能界などに関するニュースのタイトルによく使われている。また、ファッション雑誌にもよく用いられる語彙である。本来の中国語の語彙「可爱 (ke³ai⁴)」とは「かわいい (可愛い)」と同じ漢字が用いられていることから音形も似ているが、あえて日本語の音節構造に近づけている「卡哇伊 (ka³wa¹yi)」では異国情緒が強く、より新鮮に感じられる。また、日本語で「カワイイ」とカタカナで書かれるときにしばしば感じられる若者ことばとしての独特のニュアンス¹⁰⁾も付随することになる。受け入れている年齢層は若者から高齢層まで広まっていく傾向がみられる。

4.2.2 「控」

「控」は kong⁴ と読まれるが、日本語の「マザコン」(< マザーコンプレックス)、「ロリコン」(< ロリータコンプレックス)などの「～コン」からの音訳である。「卡哇伊」「噢夏蕾」などと同様、漢字の意味を反映しない、完全な音訳語である¹¹⁾。ただし、心理学用語「コンプレックス (complex)」に対しては、「情结 (qing²jie²)」という訳語が用いられる。

(28) 恋母情结	lian ⁴ mu ³ qing ² jie ²	マザコン (< マザーコンプレックス)
萝莉情结	luo ² li ⁴ qing ² jie ²	ロリコン (< ロリータコンプレックス)

中国語で使われている「～控」は、日本語で使われる「～コン」とは少し違う意味に解され

る¹²⁾。たとえば、

- (29) 欧美控 ou¹mei³kong⁴ 欧米文化に対する憧れ
(30) 嵐控 lan²kong⁴ アイドルグループ「嵐」のファン

のように、「～に憧れる」「～が好きである」といった意味で解釈される。(29) は、「西洋コンプレックス」ではなく、(30) は嵐に対する対抗意識による劣等感でもない。どちらかといえ、若者ことばとしての「～フェチ」の意味に近い¹³⁾。中国語の「～控」は、主に ACG 文化の範囲内で使われ始めたようだが、近年では幅広く「～ファン」「～フェチ」に近い意味としてもよく見られる。

- (31) 不败的经典 美甲也有圆点控
永遠の經典 爪の美容に○模様好き
(「爱丽女性网 美容」 http://beauty.27.cn/c/20101209/1291881539_84604900.html)

- (32) 没有“围脖”的时候，“微博控”隔5分钟刷次屏。
一時のインターネットの故障があった時でも、ブログ好きの人達は5分ごと投稿しようとした。
(「网易新闻中心」 <http://news.163.com/10/1202/08/6MSTIH8T00014AED.html>)

このように「控」は、接辞的であり、きわめて生産性が高い語形成を行っていて、この点においては借形語である「宅」に非常に似た性質をもっている。「宅」は中国語の本来の語彙の類推で意味は所為を行うものであるが、「控」は音訳語であり、本来の語彙の類推はない。単なる音訳語にして生産性が高いという点で非常に特異である。

4.2.3 音訳語若者ことばのまとめ

そもそも中国語において、日本語借用語は漢語をほぼそのまま写す借形語が多いというなかで、音訳語は（ヨーロッパ起源の語彙に比べて）あまり例がないが、若者ことばも例外ではない。その理由としては、たとえば「卡哇伊 (ka³wa¹yi)」という語を聞いたときに漢字が意味を反映していないために、語に馴染みがなければ何を示すのかがわかりにくいからである。この点では、若者ことばが本来もっている、集団語としての符丁性、暗号的なふるまいに合致している。また、米川 (1999) も指摘することば遊び的な「ノリのよさ」も反映し、語彙の普及に一役買っている。「卡哇伊」「噢夏蕾」などは、若い女性がファッション雑誌を眺める限りにおいてはきわめて閉じられた「集団語」であり、また、そのような雑誌を愛好する「彼女たち」はこのような語彙に「ノリのよさ」を感じているのである。また、音声的に明らかに「外国語である」という語感から、「外国の興味深い流行」というニュアンスも同時に楽しまれて使用されている。

「控」は漢字の意味を（日本語としても中国語としても）反映しない純粋な音訳語でありながら、接辞的にふるまって多くの派生語を形成している。意味をはっきり明示しないで生産的に用いられているという点で、きわめて特異な借用語であると考えられる。さらに、もとの「コンプレックス」でもない「愛好家」や「フェチ」に近い意味をもつという、元

の日本語とも中国語の漢字の本来の意味とも関係ない派生を行っている点では、若者ことばの新奇性や、流行の速さを如実に表しているといえ、日本語以上に若者ことばらしい点が強調されている。

4.3 仮名の使用

4.3.1 「の」

日本語に特有の文字である仮名の「の」が中国文のなかに表れる場合がある。中国では中国語の表記に使われる漢字のほかには欧米語の頭文字語（“OK,” “NG” など）が読み方や意味が認知される程度であり、日本語の仮名は読み方はそれほど普及していない。ただ単に、「日本の文字」として、つまり「日本起源の記号」として認知されているにすぎない。しかし、日本語の「の」は「的 (de)」に直訳される場合が多いので、これが de と発音される。

(33) 美肌達人の化粧水 8 大妙用

美肌達人の化粧水 8 種用法

（「爱美网—护肤—护肤课堂」

<http://www.lady8844.com/hufu/mbhl/2010-04-13/1271131140d389140.html>

「的 (de)」には「(名詞) 一的—(名詞)」で「(名詞) -の- (名詞)」と訳されるほか、「(形容詞／動詞) 一的—(名詞)」で「(形容詞／動詞の連体形) (名詞)」と訳される場合もある。

（例：「美丽的天空」→「きれいな空」，「宽阔的马路」→「広い道路」）この場合、日本語の訳には助詞「の」は反映されないが、このばあいでも「の」が使われる。

(34) 可愛の家 ke³ai⁴dejia¹ (アイスクリームの銘柄) 直訳：かわいい家族

(35) 快の客 kuai⁴deke⁴ (飲み物の銘柄) 直訳：クールな旅人

このような「の」は、通常の文中よりも見出しやタイトルでの使用が多い。やはり「読みにくい」ということにより、中国語の統語体系に入りきっていないということなのであろう。お菓子、飲み物などの銘柄に好んで用いられるのには、外国風であり「かつこいい」というイメージ、日本製のものでは安心できるというイメージを感じさせる記号であるからであり、このことが日本語固有の文字である「の」を借用する一つの要因になっていると考えられる。

単なる「日本的であるイメージ」としての「の」の使用として、次のような読まない、そして明確な意味も反映しない「の」の使用がある。

(36) 星の空, 87 年の代, 傻傻の 1☆ve, の小俊の

これらはインターネット上の電子掲示板のタイトルやブログ、ハンドル名に使われている例であるが、「☆, ●, *」などの記号と同様、「読まれる」ことはなく、視覚的な効果以外の意味を伝えることもない。この意味においては、「的」に置き換えられる「の」とは区別されるべきである。

4.3.2 「く」

「く」は「の」とは違い、完全に字形のみに関連しており、なおかつ読まれることもない。

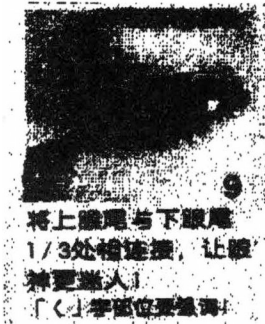
(37) 眼部要注重「く」字部位一定要強化！

目元の「く」字部位に気を配り、ぜひ強化しよう！

(『女刊白嫩派』2010年03期(上旬))

(37) の例は、化粧品をめぐる目尻の部分で仮名の「く」の字形に見立てている。同じく化粧用語として日本語にある「T字ライン」における「T」の用法と同じである。

(38) 「く」字部位を示す広告の説明(『女刊白嫩派』)



この「く」の用法はおそらく化粧品の用語に限られ、また、(38) のようにファッション雑誌のなかに視覚的に表現されるため、「読まれる」必要がない。そのためか、「く」は「の」ほどの発展、普及はしていない。しかしながら、若い女性を中心として、日本発のファッションの流行とともに(若い年齢層の女性に限って) 広くいきわたってきているようである。

4.3.3 仮名使用の若者ことばのまとめ

仮名文字使用の若者ことばは、中国語の文脈において「読めない」または「読みにくい」という点で、前2つの分類、「借形語若者ことば」「音訳若者ことば」とは大きく異なっている。

読めない、読まない文字、絵文字をコミュニケーションのツールに使う例としては、日本語においては「(^0^)/」「f^_^;」などの顔文字、「♡」「♪」などの絵文字が携帯メールを中心に使用されており、これらは音声を介さないにもかかわらず、「喜び」((^0^)/)、「照れ」(f^_^;)「気持ちの高揚」(♡, ♪)などの表現として、十分に認知されている文字列である。

これに対し、中国語における日本語起源の新語としての「の」「く」などは、ただ漠然と「外国語の表記のための文字」という認知だけあって、それらがどういう意味で使われるのかがおおざっぱにしか知られておらず、その意味において非常に符丁性が高い「記号」である。この符丁性の高さは、隠語性、閉鎖性の結果であり、若者ことばのある意味での典型的な特徴を示している一方、逆説的に若者ことばとしての流行、普及を妨げており、そのため、ネット上、ファッション誌上という限られた環境を逸脱できないでいる。

どのように読むのかわからない文字の使用は、日本語では「ギャル文字」のなかに登場す

このように、言語や文化の違いを超えて空間的に幅広く若者ことばそのもの、またその特徴もともなって伝播したのには、インターネットの普及が背景にある。インターネットを介して伝達されるということにより、ジャンルはACG文化やファッション関連に限られる。もっとも基本的な言語コミュニケーションである対面して音声を発するコミュニケーションは、この場合は伝達手段として存在しないことになる。これも外国語からの借用語としての若者ことばの限界である。

注

- * 本稿は第一著者（谷奕暁）の修士論文『中国語における日本語借用語としての若者ことばの考察』（2011年、東北大学大学院文学研究科）に基づき、その一部について第二著者（桑本裕二）の論考を交えて大幅に修正したものである。
- 1) A: animation, C: comic, G: game を指す、中国で使用される頭文字語で、「ACG文化」「ACG時代」などのようなことばがある。
 - 2) 「40代女子」のような言い方もある。
 - 3) 使われている文字が漢字のものを漢字借形語、仮名やローマ字のものを非漢字借形語という。ここで考慮すべきは漢字借形語であり、非漢字借形語については、仮名のものは後述の若者ことばとしての「の」「く」であり、ローマ字のものは、欧米のアルファベット頭文字語に準じる。
 - 4) 日本で日本人により造られた漢語語彙のこと。和製漢語とも呼ばれる。
 - 5) CNNIC（中国インターネット情報センター）の発表した『第26回中国インターネットの発展状況統計報告』によると、中国におけるインターネットの利用者は4億人に越えた（2010年7月21日付『北京商報』）。その4億人の中に若者が占める割合は2009年の調査によると半数以上である。
 - 6) 『汉英大词典』には、宅男: otaku, 宅女: otaku girl と書かれている。
 - 7) =Bulletin Board System 電子掲示板。
 - 8) 学校用語としての「男子（／女子）」から派生し、ある程度上の年齢層、たとえば30代位までを含み、特に「男子」は「女子」に比べると、幼稚性を揶揄した言い方であるといえる。桑本（2010: 28ff.）も参照のこと。
 - 9) 中国語では「食べる」という意味では通常「吃（chi¹）」を用いる。
 - 10) 桑本（2010: 47f.）は、「かわいい（カワイイ）」について、本来は「あどけない」「いとけない」という属性をもっていたものの、「おばあさん」「イグアナ」などに対しても「カワイイ！」と使われ、若者ことばとしては使われる対象の範囲が広がったものとしている。中国語に「卡哇伊」として伝わった日本語若者ことばの「カワイイ」は、これとは別のもので、若い女性が自らや仲間内でのファッション、メイクなどに関してもつ「似合っている」といったニュアンスの感情語彙である。「東京カワイイ★TV」（2007年～、NHK）というテレビの番組名などに象徴的に使われている。
 - 11) 中国語の「控」には、「訴える、制御する、垂れ下がる」という意味しかない。また、日本語の「控」は、「ひかえる」で、いずれも心理学用語の「コンプレックス（complex）」の意味を反映していない。

- 12) 「ロリコン」の意味には、「萝莉控 (luo²li⁴kong⁴)」もある。
- 13) 若者ことばの「フェチ」は元々の「フェティシズム (fetishism)」とはちがって猥褻なイメージがなく、特に自分に対して、他人には理解できないような、時に異常ともとれる趣味、愛好などを示すのに用いられる。「電気製品フェチ」など。(桑本 2010: 137)

《拼音表記について》

拼音表記は、標準的な表記法にしたがったが、声調は右肩の数字で表した。(第一声：¹，第二声：²，第三声：³，第四声：⁴，轻声：なし)

例：东 dōng→dong¹，学 xué → xue²，语 yǔ → yǔ³，四 sì → sì⁴，妈妈 māma → ma¹ma

参考辞書

『広辞苑』第6版，2008年，岩波書店
『大辞泉』1995年，小学館
『汉英大词典』第三版，2010年，上海译文出版社

参考文献

- 桑本裕二 (2003a) 「若者ことばの発声と定着について」『秋田工業高等専門学校研究紀要』第38号，113-120.
- 桑本裕二 (2003b) 「若者ことばの形態論的および意味論的考察にもとづく諸特徴について」『東北大学言語学論集』第12号，65-78.
- 桑本裕二 (2010) 『若者ことば 不思議のヒミツ』秋田：秋田魁新報社
- 小矢野哲夫 (2002) 「流行語に見る今の世相」『日本語学』第21巻第13号，44-54，東京：明治書院
- 小矢野哲夫 (2006) 「若者語は集団語か」『日本語学』第25巻第10号，14-24，東京：明治書院
- 沈国威 (2008) 『近代日中語彙交流史 新漢語の生成と受容 (改定新版)』東京：笠間書院
- 米川明彦 (1998) 『若者語を科学する』東京：明治書院
- 米川明彦 (1999) 「おもしろい現代語彙」『日本語学』第18巻第1号，41-50，東京：明治書院
- 米川明彦 (2000) 『集団語辞典』東京：東京堂出版
- 米川明彦 (2009) 『集団語の研究 上巻』東京：東京堂出版

< 中国語要旨 >

汉语中日语借用语中的年轻人用语的词汇特征

谷奕晓・桑本裕二

众所周知，在中日交流史上，日本通过遣唐使等文化交流方式从古代的中国引入了汉字到自己的语言中，至今对现代日语有着深远影响。不过，另一方面，从 19 世纪末的清朝开始，主要通过大批的留学生，中国从日本引进了很多文化元素，其中包括对日语词汇先进概念词语的学习，对现代汉语有着深远的影响。

在中国的 20 世纪 80 年代，国家政策中的改革开放，打开了向外界学习的大门。其中从日语引进借用的词语数量，以及对现代汉语的影响在中国现代汉语的发展史上也起着举足轻重的作用。

如今的 21 世纪，网络的介入改变了世界的概念和拓展了人们交流的方式。2009 年，中国网络信息中心的调查报告显示，在中国将近 4 亿网民中有一半以上为年轻人。

这种网络的新型媒体的介入，引来了可以说是史上第三次日语借用的风潮。其中特点之一就是丰富了年轻人用语。并且其中来至日语词语的数量颇多。这些用语主要来源于网络游戏，漫画，动画，以及时尚信息杂志等。本论文的主旨正是对本次日语借用的风潮的特点进行分析，通过年轻人对这些日语借用语使用情况考察其使用特点以及对日后汉语发展的影响的推量。

关键词：日语借用语，年轻人用语，汉语

(谷奕晓 上海外安伊企业管理咨询有限公司)

(桑本裕二 秋田工業高等専門学校 准教授)